



未来の  
ために、  
いま選ぼう。

2016年5月30日

環境省と同時発表

～日本政府推進「COOL CHOICE “賢い選択、”と連携～

## 6月の環境月間に伴い、環境への取組を推進！

### 一部商品パッケージにロゴを入れ、取組みをPR

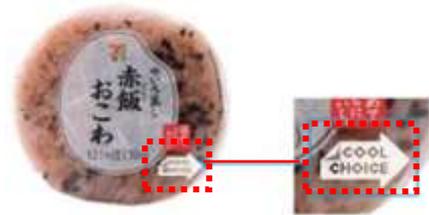
株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：古屋一樹）は、6月の環境月間に合わせて、日本政府が推進する国民運動「COOL CHOICE “賢い選択、”（=2030年度に温室効果ガスを2013年度比で26%削減することを目指し、省エネ・低炭素型の「製品」「サービス」「行動」など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動）と連携した取り組みを推進いたします。

#### ■6月1日(水)より順次、環境に配慮した一部商品のパッケージに「COOL CHOICE “賢い選択、”のロゴを印字

##### 1:おにぎり（2015年度年間売上げ個数21億個）

2016年4月12日(火)より、おにぎりのパッケージの印刷は環境に優しい“植物性インキ”を使用したものに変更いたしました。

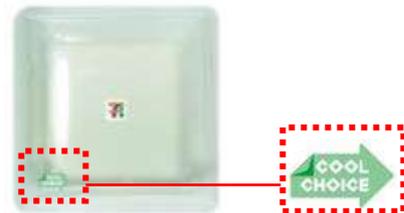
“植物性インキ”は、米ぬかから抽出する米ぬか油のように非食品部分を原料としており、従来の石油を原料としたインキと比較し、年間約60トンのCO2排出量を削減するなど、環境負荷の削減が期待できます。また、品名ラベルの紙を改良し、年間約40トンの紙使用量を削減しています。



##### 2: サラダ（2015年度年間売上げ個数4.2億個）

※一部商品を除く

2014年4月から順次、セブン-イレブン オリジナルのサラダ容器を再生材料やバイオマス材料を使用した容器に切り替え始め、2015年12月に全ての切り替えを完了し、年間約1,652トンのCO2排出量を削減しました。再生材料とは、市場で回収された使用済みペットボトルや、透明ペット容器を洗浄し、再資源化したもので、バイオマス材料は植物由来のプラスチック材料です。



##### 3: セブンカフェ（2015年度売上げ杯数8.5億杯）

2014年5月から順次、ホットカップ容器の一部に間伐材を含む紙を使用し、間伐材の普及と間伐材の利用に貢献しています。2015年11月には全ての切り替えを完了しました。また、アイスカップ容器のふたには再生材料を使用しています。



<商品棚 POP の一例>



以上